



2019年6月29日
投資家の皆様へのご説明

ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

ヤマハ発動機のおゆみ

1897年 **日本楽器製造** 誕生
(現在のヤマハ株式会社)

1955年 **二輪車部門**を分離・独立



ヤマハ 株式会社



ヤマハ発動機 株式会社



陸・海・空すべてのフィールドで 幅広い商品を展開

特機事業

その他事業

マリン事業



二輪車事業



グローバルな事業展開

グローバルに開発・生産、**180**を超える国と地域で販売

海外売上高比率 = およそ**90%**

海外生産比率 = **90% 以上**

海外グループ会社 = およそ**100**

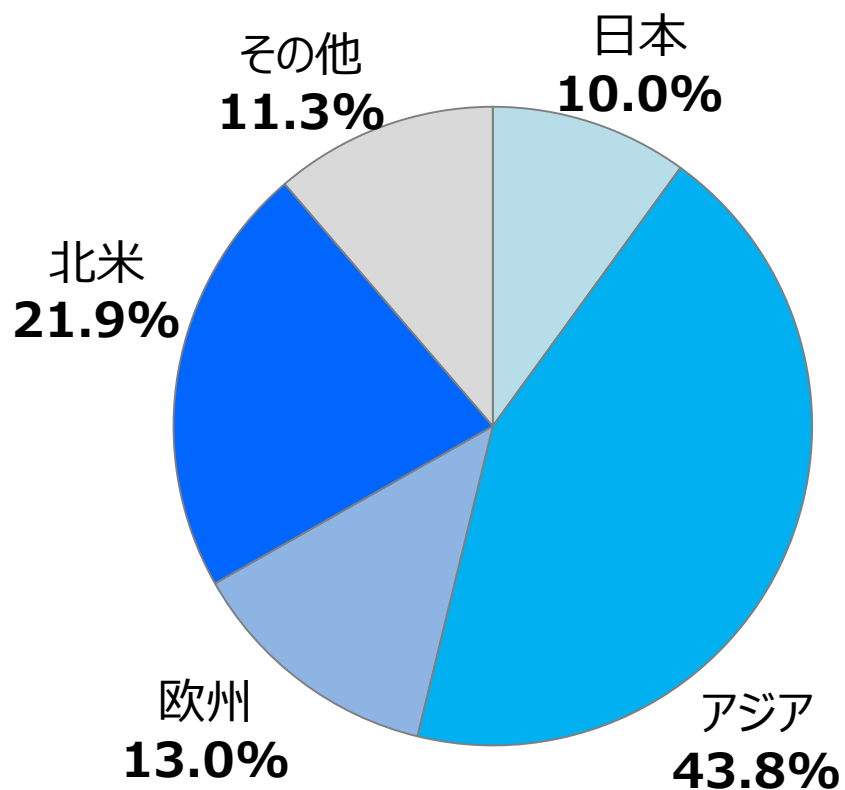
- 生産・開発・販売拠点
- 販売拠点ほか

外国人執行役員2名
グローバル社員103名

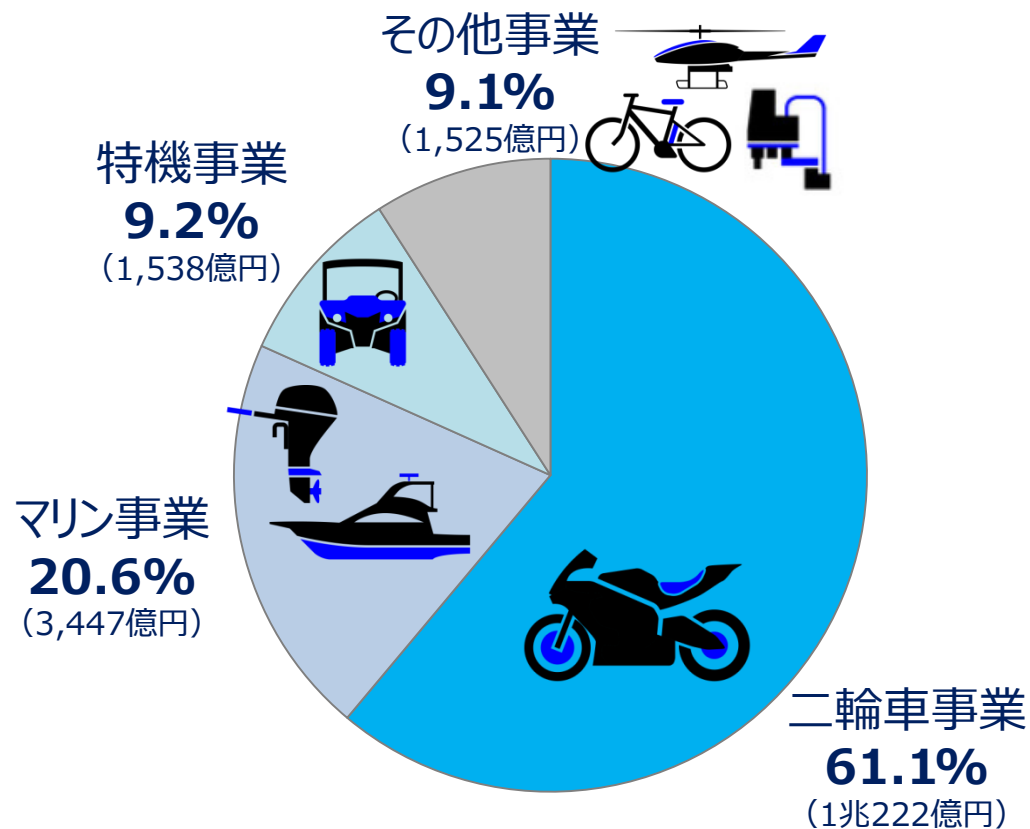
売上構成 (2018年12月期)

連結売上高 = 1兆6,731億円

地域別

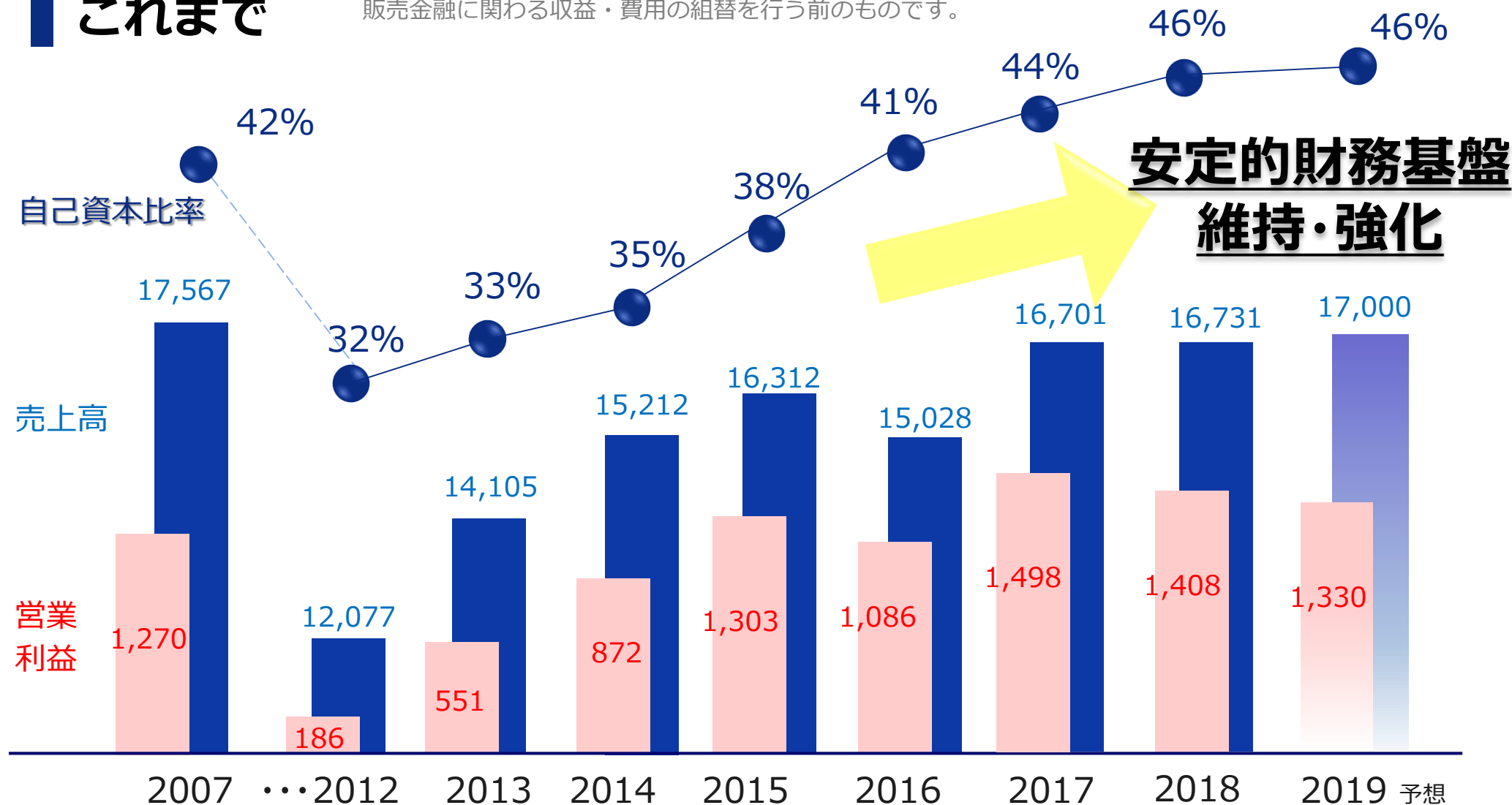


事業別



これまで

※表示されている2014年以前の数字は、販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。

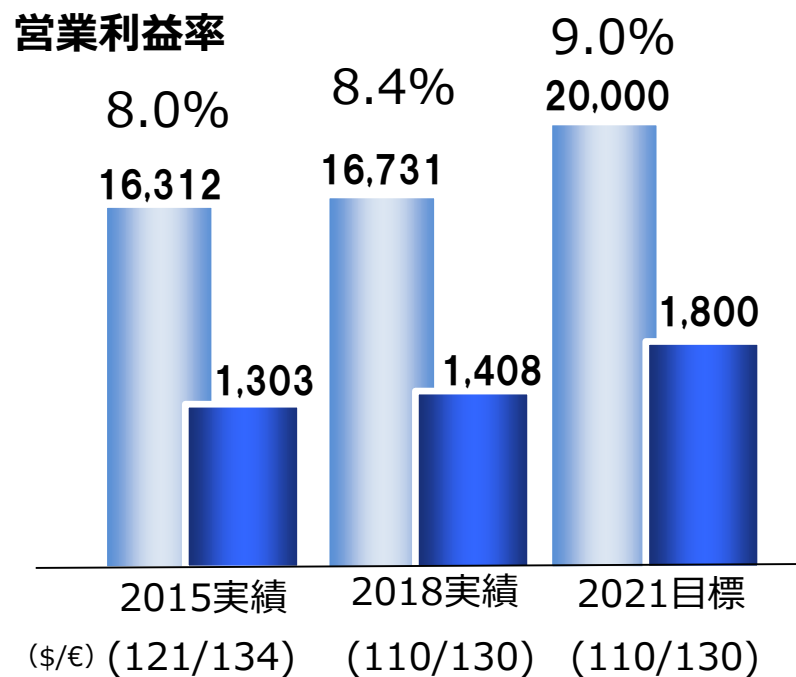


EPS	248.81	21.45	126.20	196.06	171.89	180.84	290.93	267.35	243.39 (円)
ROE	14.2	2.5	12.7	16.2	12.6	12.3	17.6	14.6	12.3 (%)

FY2019-2021

「既存事業の稼ぐ力を維持し、成長に向けた基盤強化」

＜売上高：2兆円 営業利益：1,800億円 営業利益率：9%＞



■ 既存事業 売上増総額：約3,000億円

- ・モビリティ
- ・マリン
- ・ロボティクス

■ 戦略的成長 売上増総額：約250億円

- ・ひろがるモビリティ
- ・金融サービス

売上高・営業利益（億円）

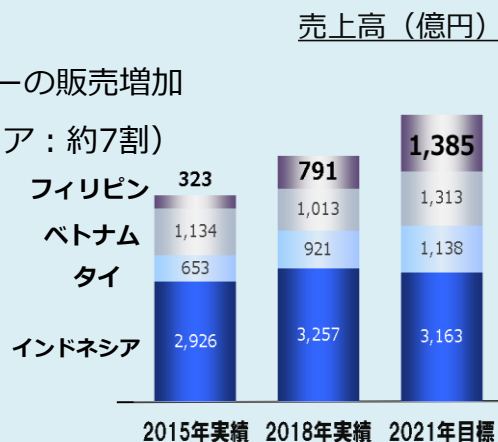
■新興国 二輪車

フィリピン

- ・ヤマハの強いブランド力
- ・若者を中心としたスクーターの販売増加
(スクーターセグメントシェア：約7割)



AEROX N-MAX

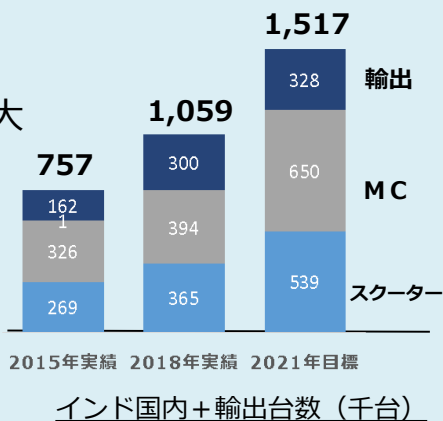


インド

- ・生産能力150万体制
- ・スクーターセグメント拡大
- ・グローバルPF投入
- ・協業拡大

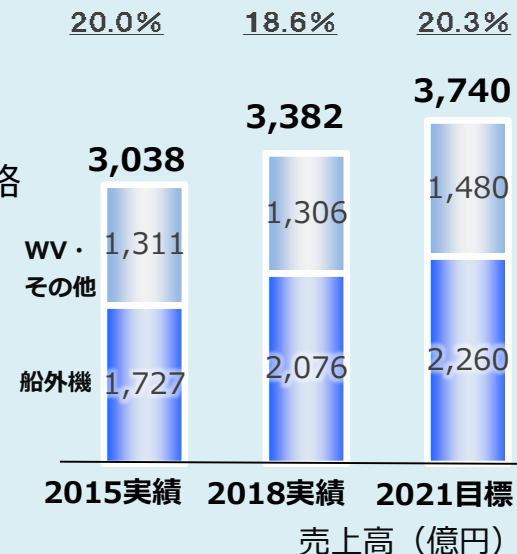


R15 FZ15



■マリン

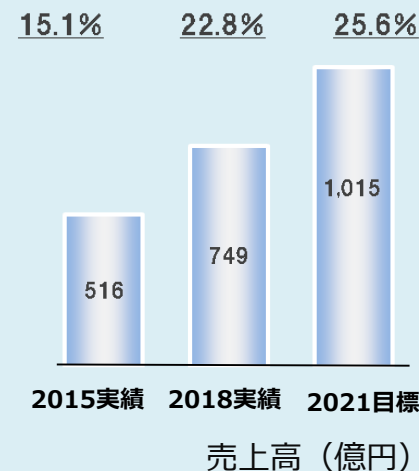
- ・生産能力の向上
- ・総合マリンビジネス戦略
(システムサプライヤー)
- ・商品開発



■ロボティクス

事業規模・領域の拡大

- ・売上高：1,000億円超
- ・営業利益率：26%



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

二輪車事業



会社創立から、基幹事業として展開 経営効率・商品競争力を高め、 安定した収益体質へ



YZF-R6



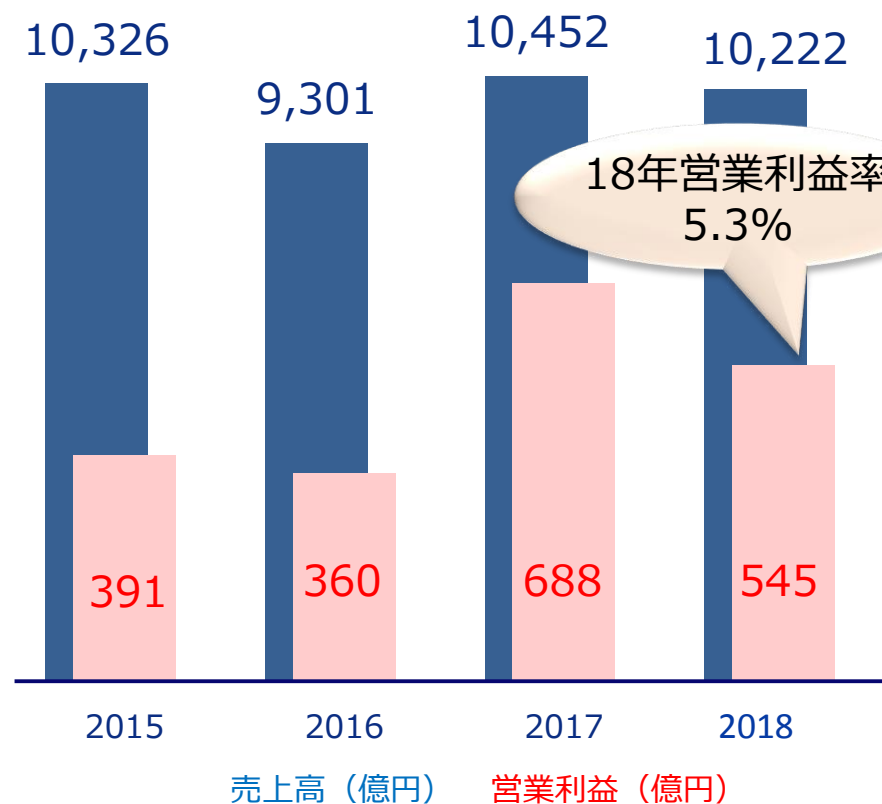
NIKEN



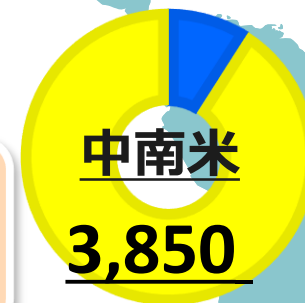
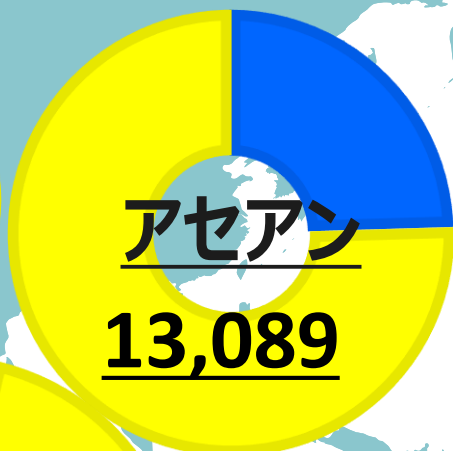
AEROX



N-MAX



二輪車事業 ～ 世界市場 ～



先進国
高いブランド力を発信
周辺ビジネス拡大

アセアン
高いブランド好感度
シェア・高収益獲得へ

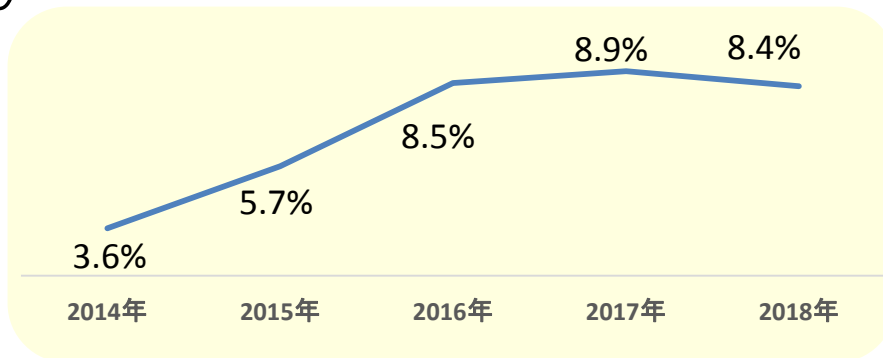
インド
商品拡充、数量規模拡大により
利益貢献事業へ

二輪車の世界の総需要計：
57,369千台

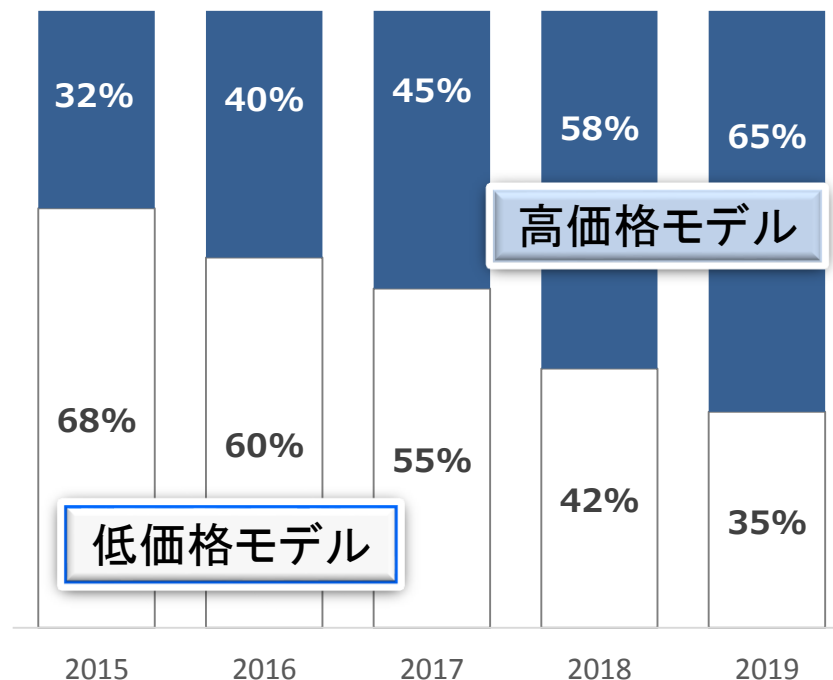
総需要2018年実績（千台）

ASEAN 営業利益率大幅改善

①プラットフォーム開発によるコストダウン



②高価格モデルの販売比率増加



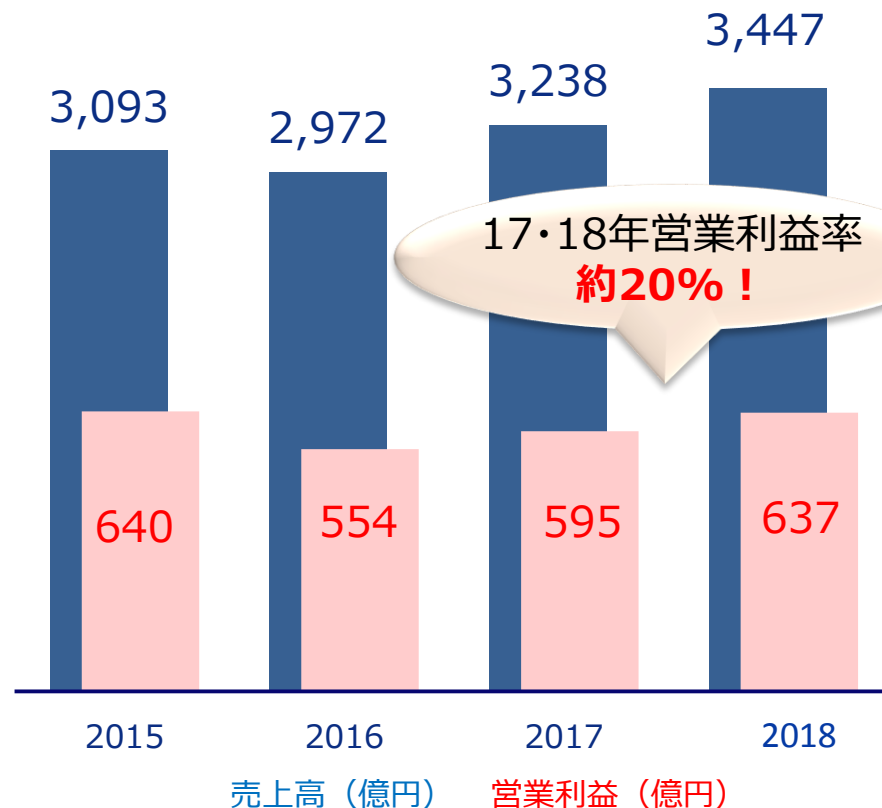
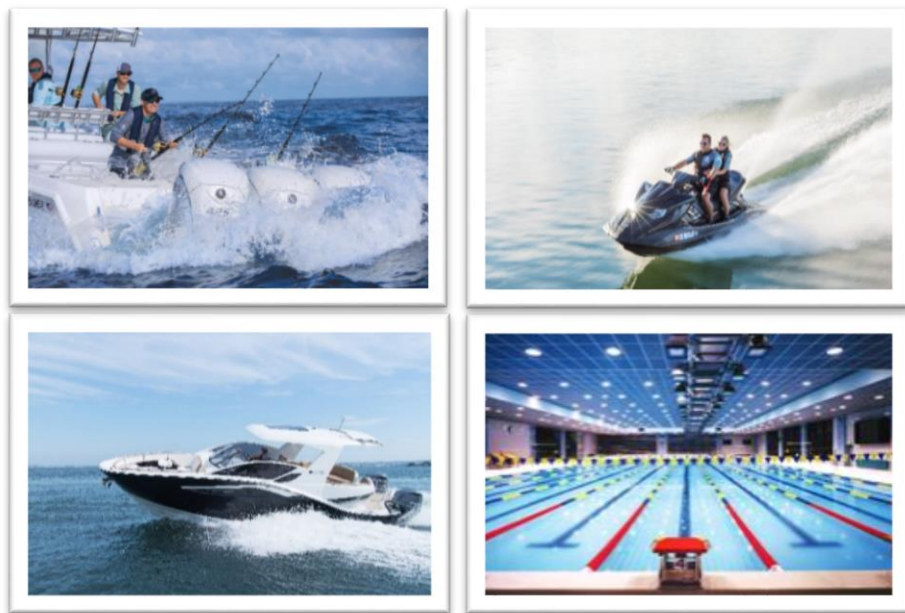
例) インドネシア 価格帯別販売台数推移

予想

マリン事業



売上高3,000億円、営業利益率20%から さらに成長するビジネスモデルへ



マリン事業 ~ 米欧 市場のトレンド~

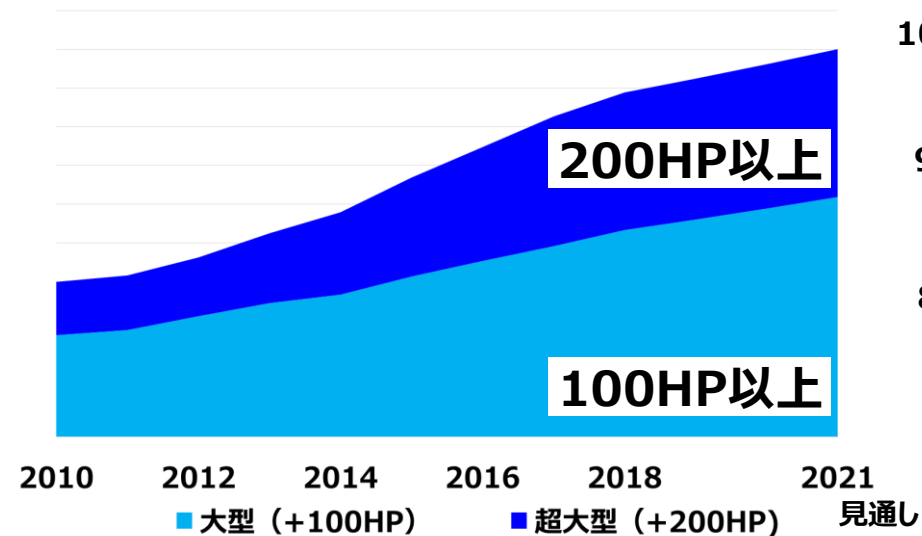
大型船外機の需要増加

- ① 大型船外機の性能アップ
- ② 船内スペースの有効活用
- ③ 取り扱いやすさ
- ④ 環境規制の高まり

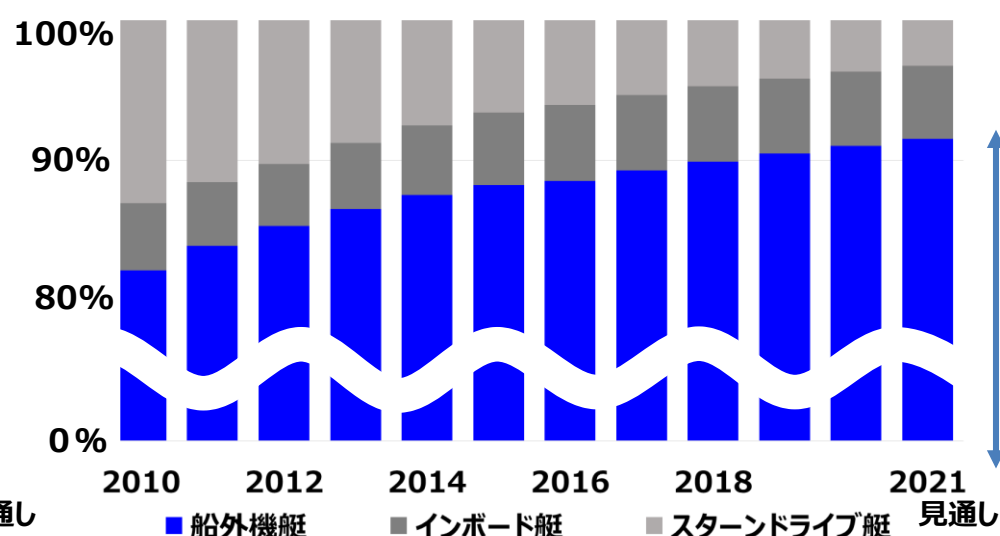


大型の場合、
1艇に対し、複数基の使用も！

■ 大型船外機総需要推移 (米欧)

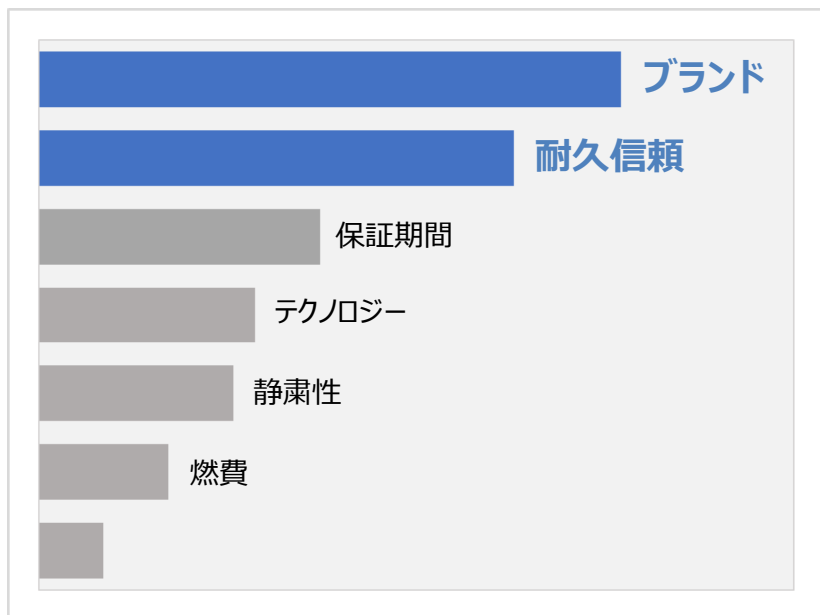


■ 推進機別ボート販売比率推移 (北米のみ)



マリン事業 ～ 当社 高収益の要因 ～

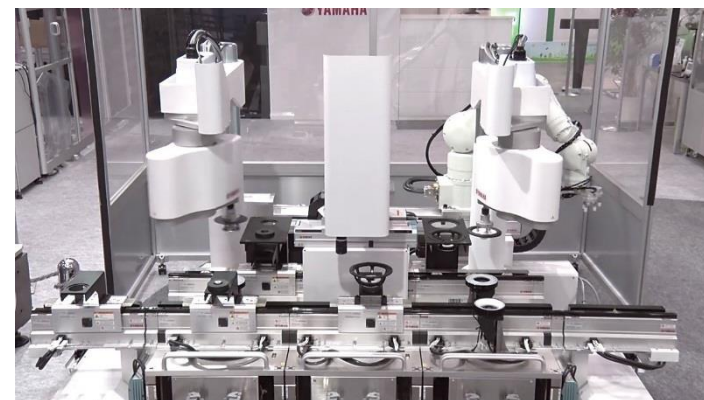
“高い信頼性から生まれたブランド力”



出所) F300B購入動機 USA (当社調べ)



エンジンからシステムサプライヤーへ

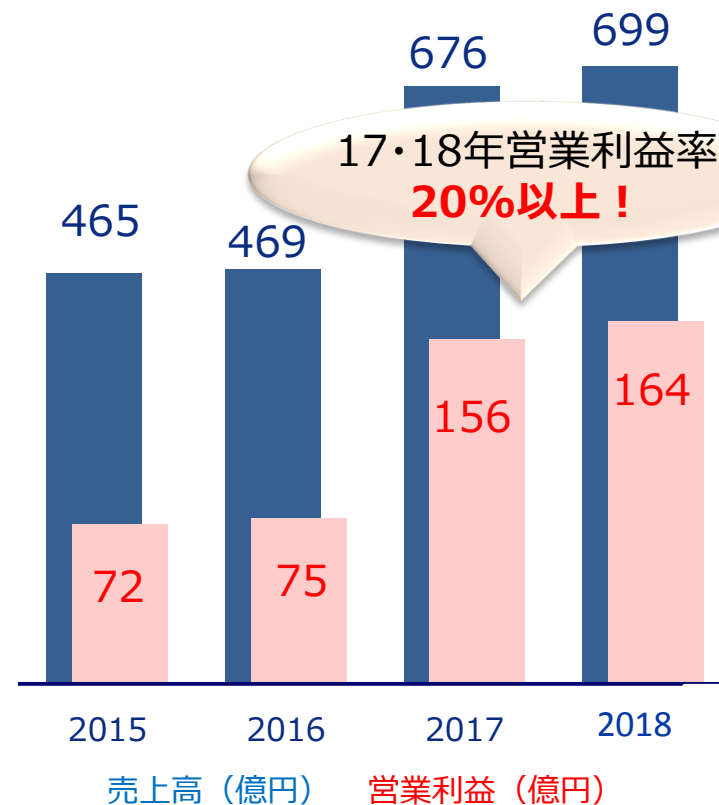
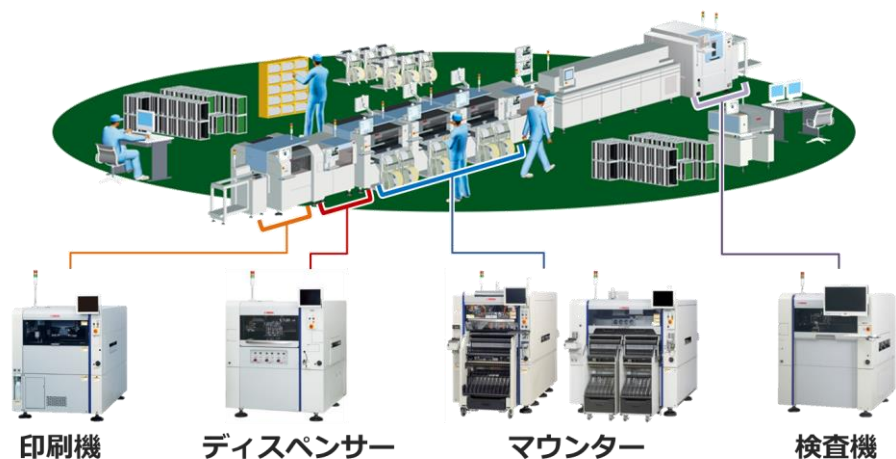


産業用機械・ロボット事業

産業用機械・ロボット事業

トータルソリューションを強みに高収益を確立

表面実装機



本日の内容

1. 会社概要
2. 事業活動
- 3. 成長戦略**
4. 株主還元

社会課題の解決を事業の成長につなげる

環境・資源課題



2050年製品CO2
排出50%削減



安全な水を多くの人に



交通・教育・産業課題



ラストワンマイル
すべての人にモビリティを



農業の人手不足を解決



イノベーション課題



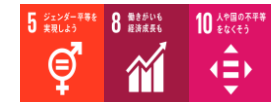
新しいスタイルの
モビリティを提案



協業による
イノベーションの加速



働き方課題



安全・安心な労働環境



ダイバーシティと
インクルーシブ



ロボティクス/知的技術の活用：農業

(Advancing Robotics)

提供価値：省人化、自動化、生産性向上

- 世界の農業用ロボット&ドローン市場規模：4兆円

■ 農業機器開発・量産

- 陸・空のビークルソリューション

■ 農薬散布を軸とした拡張・拡大戦略

- 果菜農業で自動化推進



社会課題解決へのヤマハらしい取り組み (Rethinking Solution)

低速自動運転システム

提供価値：低コストなラストマイルの移動ソリューション
Public Personal Mobility



自動運転も可能な電動小型低速車両



あらゆる用途に対応可能なプラットフォーム

- 高齢者、過疎地域の代替移動システム（低速自動走行）
- 貨客混載によるマルチユース（デマンド自動走行）

*全国各地で実証実験実施中

ヤマハクリーンウォーターシステム



本日の内容

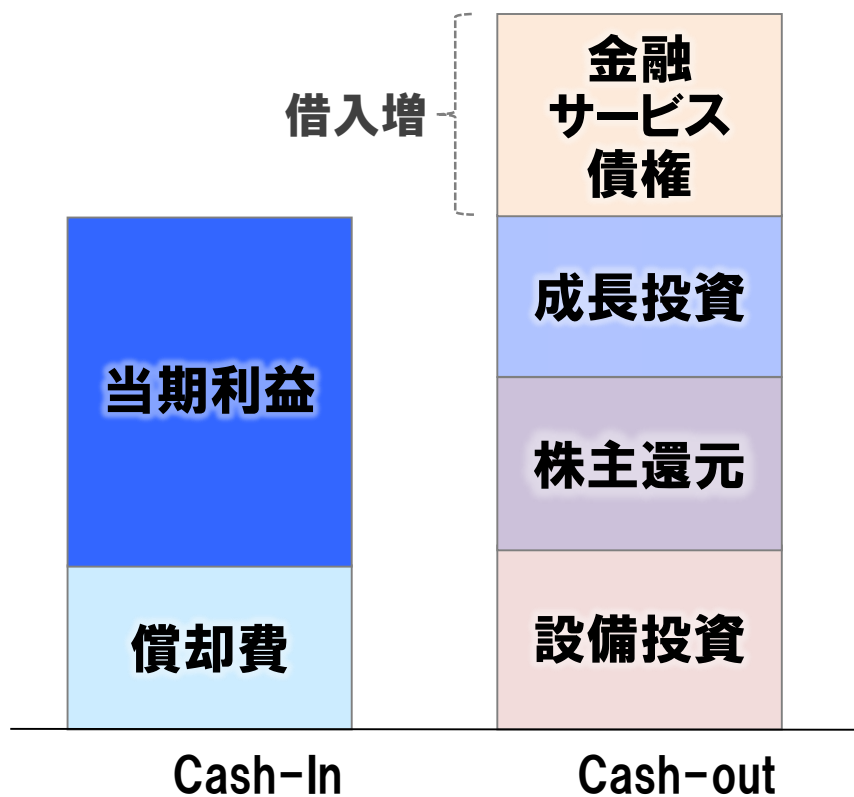
1. 会社概要

2. 事業活動

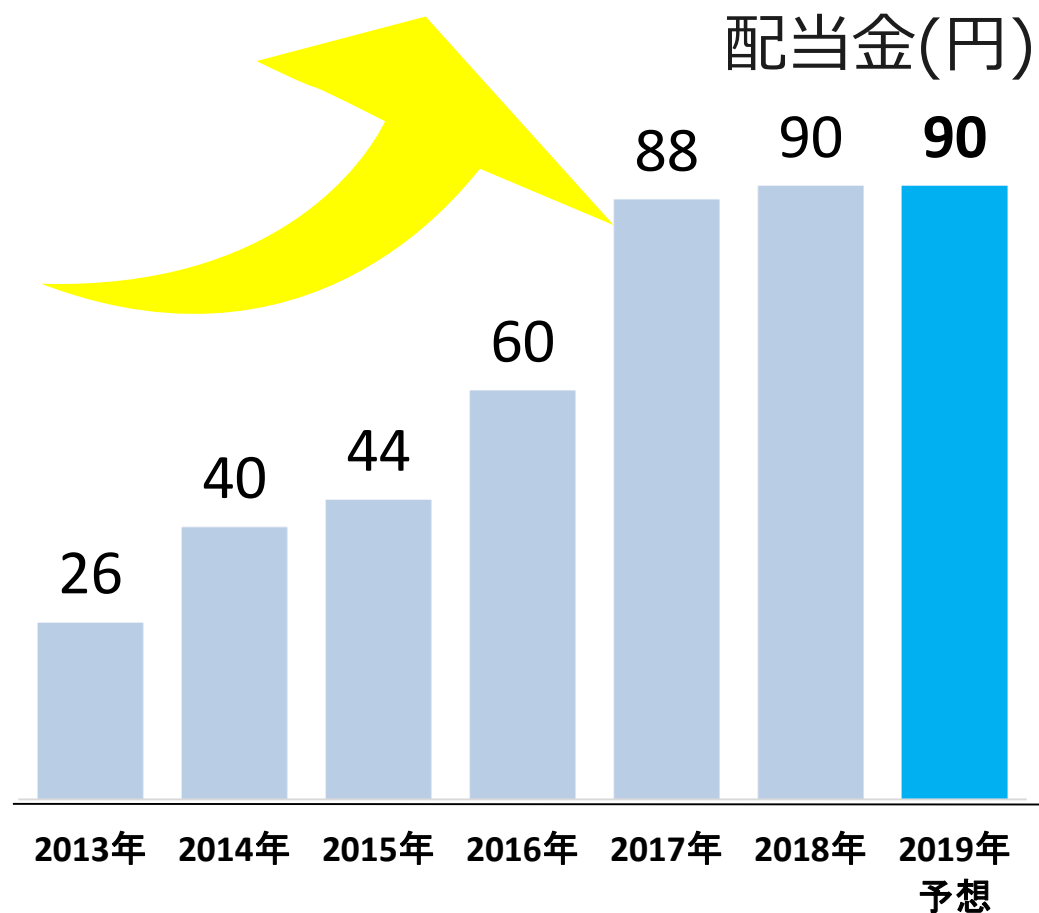
3. 成長戦略

4. 株主還元

財務戦略 (2019 - 2021年)



配当性向30%水準を目安に配当



株主優待

【株主優待対象者様】

12月31日時点の株主名簿に記載、または記録された
1単元（100株）以上の株式を保有の株主様
（※当スライドの内容は、2018年12月31日時点のものです。）

【優待内容】

保有株式数・保有期間によりポイントを進呈し、
ポイント数に応じて、優待品の中から好きな商品をお選びいただけます。

- 当社およびグループ会社所在地名産品
（ご参考）静岡県 ヤマハ発動機（株）本社他
北海道 ヤマハマリン北海道製造（株）：漁船・和船等の製造販売
宮城県（株）菅生：スポーツランドSUGOの運営
熊本県 ヤマハ熊本プロダクツ（株）：船外機等の製造他
復興支援 東北地方
- Jリーグ観戦ペアチケット、ラグビー関連グッズ、当社関連施設利用割引券
- 社会貢献基金への寄付

【株主優待ポイント】

保有株数/期間	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000	2,000
500株以上1,000株未満	2,000	3,000
1,000株以上	3,000	4,000

【商品例】

1,000P



スポーツ観戦ペアチケット



三ヶ日みかんサイダー

2,000P



手折り銘茶そば



生チーズ饅頭・一五九二

3,000P



浜松餃子



ふかひれスープセット

4,000P



仙台「べこ政宗」
牛たん食べくらベセット



葛城ゴルフ倶楽部
カレー詰合せ

ファン株主クラブ

株主様との関係をさらに強化し、

当社のことをより深く知っていただくためのファンクラブ

- ・ボートショーやモーターショーなど業界イベントへのご招待
- ・バイク、ボート、船外機工場見学会など



ファン株主クラブ専用ページ



袋井南工場ご視察会

まとめ

1. 幅広い商品をグローバルに展開
2. 事業活動を通じて、社会の課題解決に貢献し
自らも成長していく
3. 成長に向けた投資と株主還元をバランス



ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)